

科目名		言語聴覚療法管理学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
保健、福祉、医療に関する制度を理解したうえで、組織運営のマネージメントを学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕									
保健、福祉、医療に関する制度、組織運営のマネージメントを学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
保健、福祉、医療に関する制度や組織運営のマネージメントの基本理解ができる									
回数	講義内容								
1	社会保障制度：社会保障制度、医療保険、介護保険について理解できる								
2	社会保障制度：障害者・障害児サービスと就労支援、行政におけるリハビリテーションについて説明できる								
3	社会保障制度：障害者・障害児サービスと就労支援、行政におけるリハビリテーションを理解できる								
4	専門職に求められる職業倫理を理解できる								
5	業務管理：病院・施設の組織、療法士の業務を理解できる								
6	業務管理：コンプライアンス、労務管理、組織マネージメントについて理解できる								
7	多職種連携について（療法士が連携すべき職種、連携のありかた）理解できる								
8	多職種連携について（連携の実際、医療現場における療法士の役割）理解できる								
9	地域連携について（地域包括ケアシステム、地域における療法士の役割）理解できる								
10	医療の質的保証について理解できる								
11	リスクマネージメントについて理解できる								
12	養成教育と卒後教育：教育の役割と養成教育制度について理解できる								
13	養成教育と卒後教育：卒後教育について自己研鑽の必要性、職能団体とその役割を理解する								
14	管理学：言語聴覚士法と言語聴覚士協会の倫理綱領が理解できる								
15	管理学：養成学校教育制度（指定規則、職能団体とその役割、協会の認定制度）について理解できる								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学・作業・言語聴覚障害学別冊：リハビリテーション管理学	斎藤秀之、能登真一	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。
--